

NR35016 **変更**  
2023年9月

## 測定場所変更及び所要日数短縮のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、当社での検査体制が整いましたので測定場所を変更することになりましたので、謹んでお知らせ申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### ■変更内容及び実施日

【実施日】2023年11月1日（水）ご依頼分より

項目コード	検査項目	変更内容	新	従来	検査案内掲載ページ
4526	脛トリコモナスおよび マイコプラズマ ジェニタリウム 同時核酸検出	測定場所	当社	外部委託 ⑫&1	P31
		所要日数	2～3日	3～5日	

※淋菌・クラミジアトラコマチス DNA 核酸同定関連項目「4440、2191、4071」と同時依頼の際、専用検体を2本ご提出いただいていたりましたが、専用検体1本での検査が可能となりました。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

## ● 膣トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出

淋菌およびクラミジアトラコマチス以外の性感染症診断に有用な検査です。

膣トリコモナス (*Trichomonas vaginalis*: TV) の原虫による感染症は、感染率の地域差が大きいものの、感染者数が世界で最も多い性感染症であることが知られています。女性では主に膣炎、男性では尿道炎などの症状で、症状が強いものから無症状まで多様な臨床像を示し、無症状のパートナーからの性感染によるものが少なくありません。

マイコプラズマジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*: MG) の細菌による感染症は、淋菌およびクラミジアトラコマチス以外の性感染症として認知されつつあります。男性では主に尿道炎、女性では子宮頸管炎などの症状で、自覚症状が非常に強いものから軽微、あるいは無症状まで多岐にわたります。

両感染症共に、従来の塗抹鏡検および分離培養では検出困難な場合が多く、核酸増幅法による高感度で迅速、かつ保険算定可能な検査が求められていました。

本項目は、TV および MG 感染症の診断補助を目的として新規保険収載された同時核酸検出検査です。淋菌およびクラミジア以外の性感染症分野の検査としてご活用ください。

### ▼疾患との関連

性感染症、膣トリコモナス症  
非クラミジア非淋菌性尿道炎

### ▼関連する主な検査項目

淋菌およびクラミジアトラコマチス DNA 同時同定  
淋菌 DNA、クラミジアトラコマチス DNA

## ● 検査要項

項目コード	検査項目	提出量 (mL)	容器	保存	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備考
4526	膣トリコモナスおよび マイコプラズマ ジェニタリウム 同時核酸検出	分泌物	S9	室温	2~3	350 微生物	PCR (リアルタイム PCR)	陰性	下記参照
		部分尿 5mL	Sa						

- 備考 -

凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避け、単独で出検をお願いいたします。

(淋菌・クラミジアトラコマチス DNA 核酸同定関連項目「4440、2191、4071」のみ検体 1 本での同時依頼が可能です。) 材料名の記載をお願いいたします。

分泌物・部分尿: 検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。

男性の場合、PCR 反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から 1 時間以上経過後に初尿を採取してください。

本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

## ● 参考文献

Van Der Pol B, et al: JCM 59 (10): e00264-21, 2021. (検査方法参考文献)

Van Der Pol B, et al: JCM 58 (6): e02124-19, 2020. (検査方法参考文献)

日本性感染症学会: 性感染症 診断・治療 ガイドライン 2020. (臨床的意義参考文献)